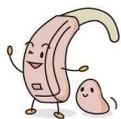


聴能だより



令和6年7月19日発行
新潟よつば学園 聴能部



聴能週間がありました！



今年度の聴能週間は、6月3日～6月14日でした。いろいろな取組を通して、自分の聞こえや耳を大切に、補聴器・人工内耳のことを自分で理解して管理できるようになってほしいと思います。



幼稚部

幼稚部では、補聴器や人工内耳を大切にできるよう、集会活動の中で使い方の約束を聞いたり、皆で〇×クイズをしたりしました。「汗をかいたときは、拭いているよ。」「ぬれると壊れちゃうよね。」など、家庭や学校で教えてもらったことをよく覚えており、自信をもって答えていました。

お話の後は、親子でイヤモールドの手入れ体験をしました。チューブを外し、流水で丁寧に汚れを取りました。洗い終えたイヤモールドは、こよりやエアバフファを使って水滴を飛ばしました。どの子も真剣な表情で、集中して取り組んでいました。5歳児は、校外学習先でも約束を覚えていて、遊んで汗をかいた後、自ら補聴器や人工内耳を拭いて手入れしていたそうです。



小学部

小学部では、きこえに関する児童集会を開きました。自分の使っている補聴器・人工内耳の種類や部位の名前のクイズに挑戦したり、手入れや扱い方を一緒に確認したりしました。いつも自分で手入れしているため、どの子も機器の乾燥やイヤモールドの洗い方が上手になってきています。説明を聞いて機器のマイクの位置が分かり、触って驚いている子もいました。

集会後は、汗をかいた際に、自分から聴能室にきて、手入れをする子が増えました。「人工内耳のケーブルが壊れやすい」という話を覚えていて、とても丁寧に扱う姿も見られました。また、自分の家で使っている乾燥剤に関心を持ち、その状態を教えてください、予備の電池を確認したりする姿も見られるようになりました。

ていれ②【イヤモールド】

せんじょうきであらいましょう！

てあらいでも〇



中・高等部

中・高等部合同の8名で「病院に行くときの話」という学習をしました。最初に一人で病院に行ったことがあるか(薬の受け取りも含めて)聞いたり、先生方の初めての通院は何歳だったかなどを聞いたりしました。

また、病院の診療科の名前と読み方、それぞれどんな内容の診療をするかを勉強しました。「小児科」は学校生活で「小児科検診」がないこと、特殊な読みであることなどの理由から、知らない人が多い言葉でした。

そして通院時の持ち物を確認して、もし一人で病院に行ったら受付や診察時にどんなことを言うか話し合いました。住んでいる市によって子どもの診察代が違っていると分かって、みんなでびっくりしました。最後はプリントで復習して、感想を書きました。「いつか一人で病院に行くときもくる」「(診察券を出すことなどの)できることからやってみよう」という前向きな感想を書いた人がたくさんいました。

後日通級教室の人たちとも同じ学習をしました。振り返りのプリントは、中高等部の人たちも通級の人たちも一生懸命に考えたことを書いてくれました。ぜひこれからの生活でこの学習を生かしてもらいたいと思います。



アンケートのご協力ありがとうございました！

聴能週間のアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。ほとんどのご家庭で、機器の乾燥やイヤモールドの洗浄などが丁寧に行われていることが分かりました。ロジャーやミニマイクロホンの使用場面として、「周りがうるさい時」「保育園」「公園で遊ぶ時」「スポーツの練習で」「テレビを見る時」など、工夫して使われていることが分かり、参考になりました。

補聴機器の日常の手入れをお子さんが一人でできるようになるために、発達段階に応じて最初は保護者の皆さんと一緒にできるところから始めてみてください。小学部高学年くらいには、聞こえに関する大切な道具を、自分で手入れすることが習慣化されると良いですね。引き続きご協力をお願いいたします。



補聴器店 お盆期間のお休み

【エイド】

8/11(日)～8/15(木)

【プレヒア】

8/11(日)～8/15(木)

【マキチエ】

8/11(日)～8/16(金)

ご確認ください。